

油圧機器事業の会社分割（簡易吸収分割） ならびにComer Industries S.p.A.との 株式譲渡契約および株主間契約締結について

2025年7月31日

代表取締役 社長 CEO
木村 和正

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。
当資料に掲載されている内容のうち数値、比率は四捨五入して表示しています。
本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

当社のありたい姿

2030年ビジョン

未来の“欲しい”に挑戦し続ける
イノベーションリーダー

Innovation In Action

中期経営計画（2025-2027）

“再興”と“進化”

- 収益性の改善
- ポートフォリオバランスの最適化
- スマートモーションコントロールへの進化

事業ポートフォリオ上の油圧機器の位置づけ



【現状】

- ・ 2022年以降中国の建機市況は悪化
- ・ 中国建機メーカーの内製化や中国油圧機器メーカー台頭による競争激化
- ・ インフレによる収益性悪化

- ・ 前中計から取り組む欧米市場や用途開拓での成果が限定的
- ・ 当社の枠組み内での成長余地に限界

- ポテンシャルを活かしきれていない

- ・ 市場は成熟期に入り、オーガニックの成長は限定的
- ・ 欧米・非油圧ショベル市場開拓遅れ

- 戦略的なパートナーが必要

- ・ 油圧機器事業のポテンシャルを最大限に生かせるベストオーナーを探索
- ・ 当社リソースのSMC*分野への集中をはかる

*SMC : Smart Motion Control

まず今回の経緯でございます。

一番左側にあるのが、当社のありたい姿です。

2030年の長期ビジョンに向けて中期経営計画を進行中です。大きな方針としては、再興と進化という中で、収益性の改善とポートフォリオバランスの最適化、またスマートモーションコントロールへの進化、これを追求しています。

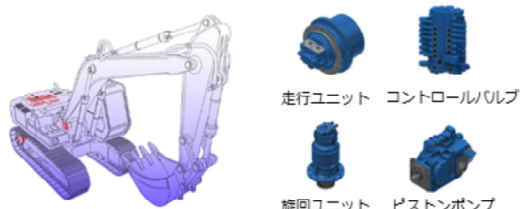
中央に事業とポートフォリオ上の、油圧機器事業の位置づけを記載しています。現状は再構築のポジショニングです。2022年以降、中国の建機市場が、非常に急激に悪化したということ、また、中国建機メーカーの内製化や中国の油圧機器メーカーの台頭による、競争環境が大きく変わっています。また、インフレにより原材料等が非常に高騰し、収益性が悪化しているという中で、前中期期間から欧米市場や用途開拓を進めてきました。油圧ショベル向けの一本足打法から新しいドメインや新しい領域をめざしました。

欧米開拓を進めていきましたが、残念ながら、その成果が限定的でした。また当社の枠組み内での成長余地には、限界があると感じていました。つまり、当社では油圧機器事業のポテンシャルが活かしきれていないということです。市場は成熟期に入り、オーガニックの成長は限定的であり、欧米や非油圧ショベル市場への開拓が遅れたことから、戦略的なパートナーが必要ではないかという結論に至りました。

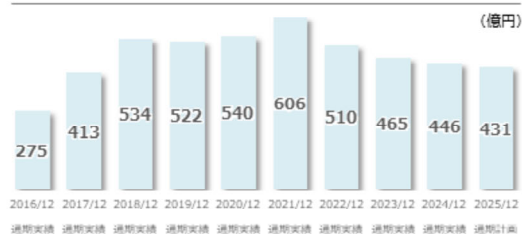
そして、油圧事業のポテンシャルを最大限にするベストオーナーの探索と、当社リソースによるスマートモーションコントロールへの進化を図るという観点で、本件を進めてまいりました。

コンポーネントソリューションセグメント 油圧機器事業

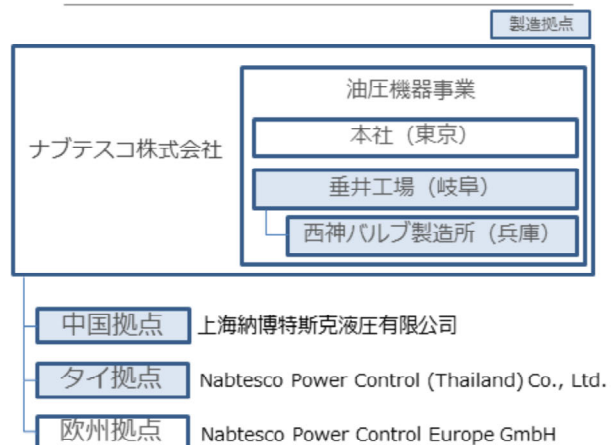
製品ラインナップ



売上実績および計画



拠点および従業員数



単体従業員数:308名 連結従業員数:669名(2024年12月末現在)

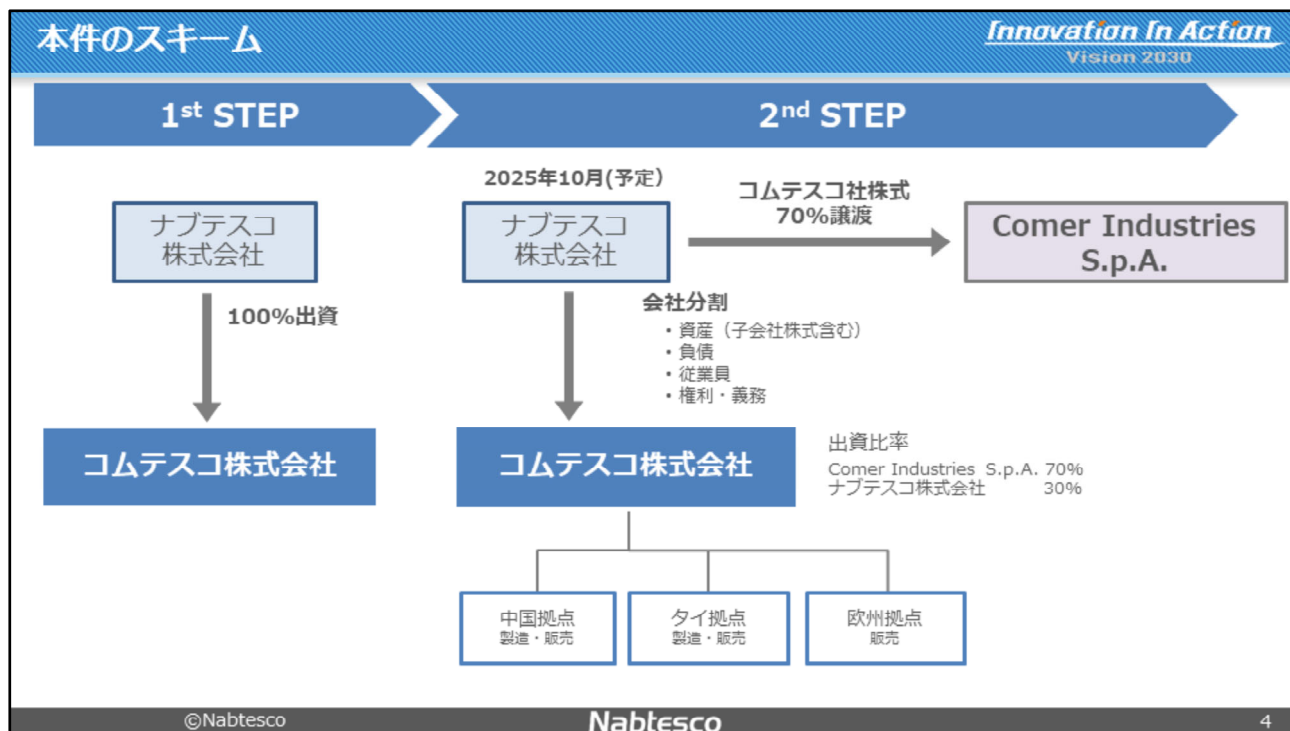
次に油圧事業の概要です。

製品ラインナップは油圧ショベル向けの走行ユニット、コントロールバルブ、旋回ユニット、ピストンポンプです。油圧ショベル用の走行ユニット市場において、世界シェア25%（当社推計）です。

業績は2021年をピークにマイナスの売上高成長となっています。

右側の拠点及び従業員についてです。ナブテスコ株式会社の中に油圧事業がありまして、本社と岐阜県にある垂井工場、兵庫県にある西神バルブ製造所がございます。また海外での子会社といたしまして、中国、タイの製造・販売拠点、欧州については販売会社を有しています。

従業員については308名。連結従業員数については669名です。



本件スキームです。ファーストステップとして、ナブテスコ株式会社がコムテスコという名前の会社を設立予定です。その後、今年の10月にコムテスコ社に会社分割しまして、資産、負債、従業員の権利義務を移管する予定です。また、中国の製造拠点、タイの製造拠点、また欧州の販売会社を、このコムテスコの傘下におき、コムテスコ社の株式について、Comer社に70%を譲渡します。

Comer Industries社概要

●会社概要



企業名

Comer Industries S.p.A.

業種

製造業

代表者

Matteo Storch, President & CEO

住所

Via Magellano, 27, 42046 Reggio, Italy

URL

<https://www.comerindustries.com>

設立年月日

1970年

上場年月日

2019年3月13日

主要取引市場

ユーロネクスト・ミラノ

資本金

18百万ユーロ (2024/12期)

売上

949百万ユーロ (2024/12期)

従業員数

3,171人 (2024/12末連結)

●製品・アプリケーション

✓ Agriculture (農業)、Industrial (一般産業) 向け、ギアボックス、減速機、ドライブシャフト、電動機器

ギアボックス

ドライブシャフト

車軸

遊星歯車装置

トラクタ機器

電動機器

ドライブシャフト

GEARBOXES

PTO DRIVE SHAFT & CLUTCHES

AXLES

PLANETARY DRIVE

TRACTOR ATTACHMENT SYSTEM

E-MOBILITY

DRIVE SHAFTS

草刈り機

耕運機

トラクター

コンクリートミキサー車

ロードローラー

林業フォワーダー

高所作業車

●ナブテスコとの協業状況 (2017年～)




Nabtesco

油圧モーター

+

Comer

減速機



●拠点

■ 製造

✓ Comer | イタリア5、中国1、インド1

✓ e-comer | イタリア2

✓ Walterscheid | ドイツ3、米国1、ブラジル1

✓ Powertrain Rockford | 米国1

■ 販売

✓ Comer | 米国1、英国1、ブラジル1

✓ Walterscheid | 日本1 (松井製作所とのJV)

■ アフターサービス

✓ Walterscheid |

オーストリア1、オランダ1、フランス1、スウェーデン1、英国1、ロシア1

✓ Off-Highway Powertrain Services | ドイツ7

Comer社の概要をご説明いたします。

Comer Industries S.p.A. は製造業でございます。代表者はMatteo Storch氏でございます。イタリアの会社です。

設立は1970年で、2019年3月13日にユーロネクストミラノに上場しております。資本金は1,800万ユーロ。売上高については2024年度実績で9億4900万ユーロ、従業員数は連結で3,171名でございます。

同社の製品アプリケーションは、農業用機械、一般産業用向けのギアボックス、減速機、ドライブシャフト、電動機器などを製造しています。

世界地図のところにありますように、ヨーロッパを中心に、北米、ブラジル、インド、中国に製造・販売拠点をもち、グローバルに展開している企業です。

5

2025年12月期計画

(単位：億円)	2025/12	2025/12	2025/12	2/12計画比	修正計画比
	通期計画(2/12)	通期計画(7/31) 会社分割事業含む	会社分割後 通期計画 (7/31) 会社分割事業除く	増減額	増減額
	(A)	(B)	(C)	(C-A)	(C-B)
売上高	3,360	3,440	3,007	-353	-433
営業利益	187	223	208	21	-15
(営業利益率)	5.6%	6.5%	6.9%	1.3pt	0.4pt
税引前利益	197	224	208	11	-16
親会社に所屬する当期利益	131	146	149	18	3
一株当たり当期利益 (円)	109.07	122.43	124.95	15.88	2.52
ROIC	4.1%	4.9%	4.6%	0.5pt	-0.3pt

*1 (C)当該会社分割等の損益等の影響を備へた連結業績予想は、以下のとおりです。株式譲渡予定日（2025年10月末予定）から期末日までの売上高及び各利益が減少することに加え、IFRS第5号に基づき同事業を非継続事業に分類し、同事業に係る期首から株式譲渡予定日までの売上高、営業利益、税引前利益について、非継続事業を除いた継続事業に係る金額に組み替えております。親会社の所有者に帰属する当期利益については、継続事業及び非継続事業の合算値としております。そのため1～12月の油圧機器事業の売上高、営業利益、税引前利益は控除し、出資比率変更予定の11月以降、コムテスコ社からの持分法による投資損益を含めております。

*2 一株当たり当期利益は、本日公表の自己株式取得を前提として計算しております。

本件に関わる、今期の業績への影響です。

本日発表させていただきました通期の業績予想修正が中央の(B)です。

分割後、売上高については3,007億円、営業利益は208億円。税引き前利益は208億円、当期利益につきましては149億円となる見込みです。

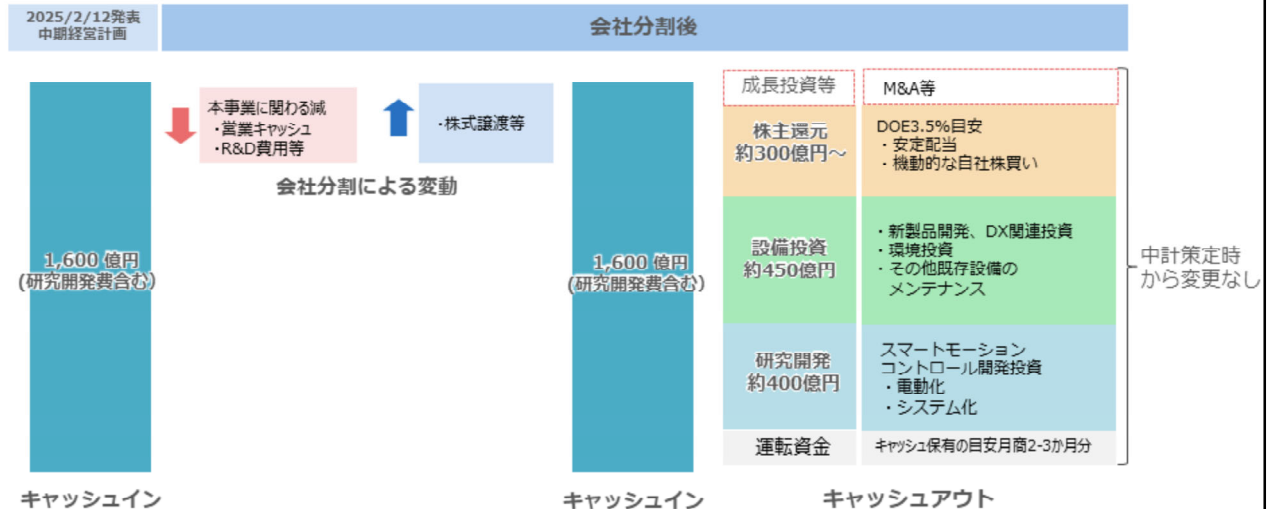
この内容につきましては、IFRS第5号の基準に基づいて試算しています。この譲渡に関わる損益につきましては、精査中ですので、あくまでも参考値ということでご認識いただければと思います。

キャッシュアロケーション

Innovation In Action
Vision 2030

キャッシュイン：本件実施後の中期経営計画（中計）期間中の合計額は変化なし

キャッシュアウト：中計で実施する事項はすべて網羅されており、成長投資計画に変更なし



©Nabtesco

Nabtesco

7

続いて、本件実施後のキャッシュアロケーションの変化についてです。

この会社分割により、70%をComer社に渡します。今日の開示資料にあります通り、その譲渡価格に相当する142億円のキャッシュが入ってくる見込みです。しかし、今中期計画の3年間で見ますと、営業キャッシュフローやR&D費用相当分の減少がある一方、譲渡価格による分でほぼ相殺され、3年間のキャッシュインの変化はほとんどありません。そのため中期計画でお示しました投資計画について現在に変更ございません。

■本プロジェクトにより期待される効果

定性効果

- ・油圧機器事業は新しいオーナーのもとでさらなる成長が可能
- ・ポートフォリオバランスの最適化を推進し、レジリエントな企業基盤の構築をはかる
- ・長期ビジョン実現に向けたスマートモーションコントロール促進のためにリソース集中

定量効果

- ・営業利益率改善
 - 2025年度の全社営業利益率 分割前 6.5%⇒ 分割後 6.9%
 - 2025年度のCMP営業利益率 分割前 6.1%⇒ 分割後 6.8%
- ・資産の圧縮 資産合計 2Q末4,483億円⇒分割後 4,260億円

本日のまとめです。

定性効果といたしまして、まず油圧機器事業は新しいオーナーのもと、さらなる成長が可能であると考えております。

二つ目にポートフォリオバランスの最適化を推進し、レジリエントな企業価値の企業基盤の向上を図ること。

三つ目に長期ビジョン実現に向けたスマートモーションコントロール推進のため、リソースを集中できることです。

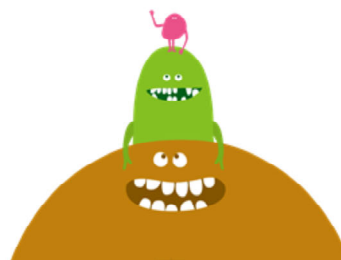
定量効果につきましては、営業利益率という面で、改善が図れる見込みです。

2025年度の全社営業利益率で見ますと、6.5%から6.9%。2025年度のCMP(コンポーネントソリューション事業)においては、6.1%から6.8%を見込んでいます。

また、資産の圧縮につきましては、資産合計といたしまして、4,483億円から。分割後は4,260億円になる見込みで申し上げます。

私からの説明は以上でございます。ありがとうございます。

うごかす、とめる。
Nabtesco



©Nabtesco

9